

アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2003年7月8日

2003年7月6日現在：

この1週間の気象は、高温・乾燥気象であった。1週間の州平均農作業日数は6.9日（前週：6.7日）であった。降雨は殆ど記録されず、平均気温は平年を多少上回った。多くの圃場にて薬剤散布が実施された。3週間続きの高温・乾燥で土壌水分は下降した。

好天は小麦の成熟を早め、7月6日現在、全州の春小麦の72%が出穂した。昨年並びに平年（5年平均）より早い生殖成長を示している。北部の春小麦は48%が出穂した（昨年：29%、平年：33%）。冬小麦は北部地区でも96%が出穂（昨年同期：98%、平年：94%）収穫が近付いた。南西地区（SW）の冬小麦は完熟し、収穫直前である。春小麦並びに冬小麦の作柄状況は前週と比較し多少落ちたが、“Good”から“Excellent”に移行した小麦（灌漑圃場）も有った。

7月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では、下表の通り単位収量は6月1日予想と変わらず82.0 bushels/acreであったが、収穫面積が6月1日予想より10,000 acres増加した。

Topsoil 土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	15	39	44	2
Last week (%)	12	30	53	5

灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	4	12	47	35	2

小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat (%)	0	4	14	56	24
Spring Wheat (%)	0	4	20	54	22

小麦進捗状況：7月6日現在

	North			S. W.			S. Cent.			State		
	7/6	A	Ave	7/6	A	Ave	7/6	A	Ave	7/6	A	Ave
Spring Wheat Headed (%)	48	29	33	100	100	100	99	95	87	72	42	52
Winter Wheat Headed (%)	96	98	94	100	100	100	100	99	99	98	98	95

A:2002年同期。 Ave:5年平均

Source：Idaho Agricultural Statistics Service

次のページへ

7月1日付け農務省発表冬小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				June 1	June 1		
Idaho	690	720	79.0	82.0	82.0	54,510	59,040

当該作柄レポートへのご質問は下記宛てにお願い致します。

小川正晃 : E-mail ogawa.max@omicnet.com